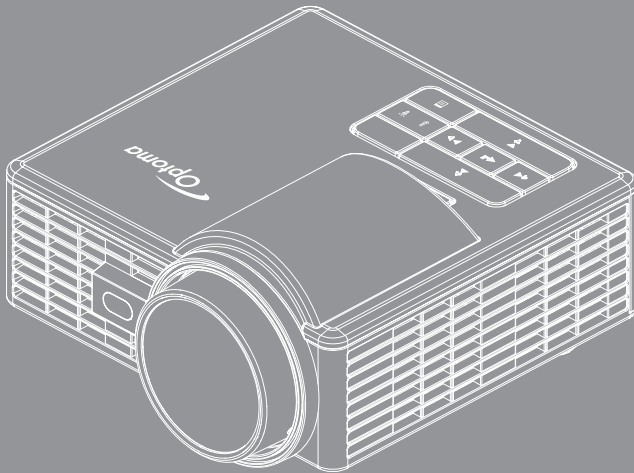




DLP® プロジェクター



ユーザーマニュアル



内容



安全上のご注意	4
使用目的に関する声明.....	5
安全に関する情報.....	5
安全ラベル.....	7
商標.....	8
ビデオおよびオーディオデコーダに関する注意事項.....	8
規制に関する注意事項.....	9
CEに関する声明.....	10
WEEEに関する声明.....	10
はじめに	11
同梱されているもの.....	11
プロジェクターについて.....	12
本体.....	12
入力/出力接続.....	13
コントロールパネル.....	14
リモコン.....	15
リモートコントロールバッテリーの取り付け.....	16
リモコンの動作範囲.....	16
設置	17
コンピュータへの接続.....	17
DVDプレーヤーへの接続.....	18
マルチメディアへの接続.....	19
プロジェクターの電源を入れる/切る.....	20
プロジェクターの電源を入れる.....	20
プロジェクターの電源を切る.....	20
投影画像の調整.....	21
プロジェクターの高さを上げる.....	21
プロジェクターの高さを下げる.....	21
投影画像サイズの調整.....	22
ユーザー制御	24
オンスクリーンディスプレイの使用方法.....	24
メインメニュー.....	24
イメージ.....	25
ディスプレイ.....	26
セットアップ.....	28
詳細設定.....	29
マルチメディアの概要.....	30

写真形式.....	30
ビデオ形式.....	30
オーディオ形式.....	31
Office ビューアー形式.....	31
USBを使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法.....	33
マイクロSDを使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法.....	35
内部メモリを使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法.....	37
マルチメディアメインメニュー.....	39
システム、USB、マイクロ SD、および、内部メモリに対するマルチメディア設定.....	39
システム設定.....	40
写真設定.....	41
ビデオ設定.....	42
音楽設定.....	43
その他のマルチメディア接続.....	44
内蔵メモリからファイルを投影する.....	44
ポータブル機器の画面の投影.....	47
自動再生機能(デジタルサイネージモード).....	50
再生.....	50
エラーメッセージ.....	52
電源 オン/オフ.....	52

付録.....53

トラブルシューティング.....	53
ガイド信号.....	55
互換モード (HDMI/VGA).....	56
プロジェクターの三脚架.....	57
仕様.....	58

安全上のご注意

	正三角形内に矢形のある電光のひらめきは、製品のエンクロージャー内に非絶縁電線の「危険な電圧」があり、人に電気ショックの危険性を与える大きさになりうることをユーザーに警告するのが目的です。
	正三角形内の感嘆符は、電気器具に付属されている/パンフレットに重要な操作とメンテナンス（修理）の指示があることをユーザーに警告するのが目的です。

警告: 火災や電気ショックの危険性を減らすため、この電気器具を雨や湿気にさらさないでください。エンクロージャー内は危険な高圧状態です。キャビネットを開かないでください。修理は適格な担当者にのみ任せてください。

クラスB排ガス規制

このクラスBデジタル装置は、カナダのインターフェース関連設備規制のすべの要求事項を満たしています。

重要な安全上の指示

1. どの換気孔もふさがないようにください。プロジェクターを確実に操作できるようにし、過熱にならないようにするには、通気をふさがない場所にプロジェクターを設置することをお勧めします。例としては、物であふれたコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドなどの上にプロジェクターを載せないでください。空気の流れを制限する本棚やキャビネットなどの囲いの中にプロジェクターを置かないでください。
2. 水や湿気のあるところでプロジェクターを使用しないでください。火災や電気ショックの危険性を減らすには、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。
3. ラジエーター、ヒーター、ストーブ、または熱を放つ増幅器といったその他の器具など、熱源の周辺に設置しないでください。
4. 掃除には、乾いた布だけを使ってください。
5. メーカー指定の取り付け具/付属品のみを使用してください。
6. 装置一式が物理的損傷があったり、乱用されているものは使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです（ただしこれらに限定されません）：
 - 装置一式を落としたことがある。
 - 電源コードやプラグが損傷している。
 - 液体をプロジェクターにこぼしたことがある。
 - プロジェクターを雨や湿気にさらしたことがある。
 - 何かプロジェクターの中に落ちている、またはその内側の何か緩んでいる。装置一式を自身で修理しないでください。カバーを開けたり、外したりすると、危険な電圧やその他のハザードにさらされる可能性があります。装置一式を修理に出す前にOptomaまでお電話ください。
7. プロジェクターに物や液体が入らないようにしてください。これらが、火災や電気ショックにつながる危険な電圧ポイントおよびショートする部品に触れる可能性があります。
8. 安全に関連する印についてはプロジェクターの同封物を参照してください。
9. 装置一式の修理は、適切なサービス担当者のみが行う必要があります。

使用目的に関する声明

- 動作温度：
 - 0～2,500 フィート、5 °C～40 °C の場合
 - 2,500～5,000 フィート、5 °C～35 °C の場合
 - 5,000～10,000 フィート、5 °C～30 °C の場合
- 最大湿度：
 - 動作：相対湿度 10 %～80 % (最大)、結露無し
 - 保管：相対湿度 5 %～95 %、結露無し

周囲動作環境に、空中に浮遊する煤煙、グリース、オイル及びプロジェクターの操作や性能に影響を与える可能性があるその他の汚染物質がないようにします。

悪条件下で本製品を使用する場合、製品保証は無効になります。

安全に関する情報

このプロジェクターを使用する前に、この説明書に含まれる安全に関する情報を読んで、理解し、そして従ってください。将来の参考のため、この説明書を保持してください。

シグナルワードと結果の説明

- ⚠ **警告:** 回避しないと、死亡または重傷及び/または物的損害が生じる可能性がある潜在的に危険な状況を示します。
- ⚠ **注意:** 回避しないと、軽傷又は中程度の傷害及び/または物的損害が生じる危険性がある状況を示します。
- ⚠ **警告:** 危険電圧

⚠ 警告

危険電圧に関連するリスクを減らすために：

- どのような方法でも本製品を改造しないようにします。
- このプロジェクターを修理しないようにします。
- ユーザーが修理可能な部品はありません。修理は、Optoma認定サービスプロバイダが、Optoma承認システムコンポーネントを使用した場合のみ行うことができます。
- 湿った環境で壁面の電源を使用しないようにします。
- 破損した壁の電源を使用しないようにします。破損した部品を使用前に交換します。

火災および爆発に関連するリスクを減らすために：

- プロジェクターを液体に浸さないようにし、また、濡れないようにします。
- Optoma承認電源装置のみを使用します。

窒息に関連するリスクを減らすために：

- リモコン電池のようなすべての小さい部品を子供またはペットのそばに置かないようにします。

危険な電圧、衝撃、つまずき、そして強烈な可視光線に関連するリスクを減らすために：

- 監視する者のいない子供の周りで、このプロジェクターを使用しないようにします。

⚠ 注意

難聴に関連するリスクを減らすために：

- 音量レベルに関してイヤホンメーカーの説明書を必ず読みます。
- ユーザーは、安全な音量レベル設定の責任を負います。

電池の液漏れによる爆発及び/または化学物質に関連するリスクを減らすために：

- 電池タイプCR2025のみを使用します。
- 電池のプラス(+)およびマイナス(-)端子をリモコン上のマークに合せます。
- 長時間リモコン内に電池を入れて放置しないようにします。
- 電池を加熱したり、火に曝さないようにします。
- 電池を分解、ショート、または充電しないようにします。
- ポケットまたはバッグに電池をいれて運ばないようにします。
- 電池の液体が漏れた時、眼および皮膚に接触しないようにします。
- 火気の近くまたは非常に暑い環境で電池を充電しないようにします。

環境汚染に関連するリスクを減らすために:

- 適用される政府の規制に従って、すべてのシステムコンポーネントを廃棄します。

LED高輝度ライトに関連するリスクを減らすために:

- プロジェクターのレンズを直接覗かないようにします。

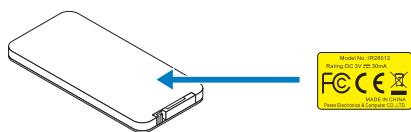
つまずきおよび落下に関連するリスクを減らすために:

- つまずきの危険がないように充電コードおよびデータケーブルを置きます。

重要な注意: 車の中など閉めきった空間でプロジェクターを直接日光に当てないでください。

次の説明書を保存してください

安全ラベル



リモコン

モデル番号IR28012

商標

Optoma および Optoma ロゴは、Optoma 社の商標です。Adobe および Adobe ロゴは、米国および/またはその他の国における Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。Microsoft、PowerPoint、および Excel は、Microsoft 社の登録商標です。MicroSD および MicroSDHC は SD Association の商標です。

その他すべての商標または登録商標は、各社の所有物です。

ビデオおよびオーディオデコーダに関する注意事項

MPEG-4に関する注意事項

本製品は、消費者による個人使用および非商業目的で使用するために、(i) MPEG-4 映像標準 (以下、「MPEG-4 ビデオ」という) に準拠してビデオをエンコードすることおよび/または、(ii) 個人使用および非営利活動に従事する消費者がエンコードした MPEG-4 ビデオ及び/または MPEG LA から MPEG-4 ビデオ提供のビデオプロバイダーライセンスを取得した MPEG-4 ビデオをデコードすることについて、MPEG-4 映像特許ポートフォリオライセンスに基づいて使用許諾されています。ライセンスは許諾されておらず、また、その他の用途に関し黙示的に認められていません。販売促進、社内および商用的利用およびライセンスに関する追加情報は、MPEG LA, LLC から取得することができます。<http://www.mpegla.com> を参照してください。

AVCビデオに関する注意事項

本製品は、消費者による個人使用および非商業目的で使用するために、(i) AVC 標準 (以下、「AVC ビデオ」という) に準拠してビデオをエンコードすることおよび/または、(ii) 個人使用および非営利活動に従事する消費者がエンコードした AVC ビデオ及び/または AVC ビデオ提供のビデオプロバイダーライセンスを取得した AVC ビデオをデコードすることについて、AVC 特許ポートフォリオライセンスに基づいて使用許諾されています。ライセンスは許諾されておらず、また、その他の用途に関し黙示的に認められていません。追加情報は、MPEG LA, LLC から取得することができます。<http://www.mpegla.com> を参照してください。

MPEGレイヤ3に関する注意事項

本製品の供給は、この製品で作成した MPEG レイヤ 3 互換コンテンツの収益生成放送システム (地上波、衛星、ケーブル及び/またはその他配信チャンネル)、ストリーミングアプリケーション (インターネット、イントラネット及び/またはその他ネットワーク経由)、その他のコンテンツ配信システム (有料オーディオまたはオーディオディマンドアプリケーションおよびその類似) または物理メディア (CD、DVD、半導体チップ、ハードドライブ、メモリカードおよびその類似) への配信に関するライセンスおよび権利を意味するものではありません。そのような利用には、個別のライセンスが必要です。

詳細は、<http://mp3licensing.com> を参照してください。

規制に関する注意事項

FCC声明 - クラスB

本製品はラジオ周波数を発生、使用、放射しますので、説明書通り正しく設置および使用されていない場合はラジオ混信を招く恐れがあります。FCC規則のパート 15 サブパート B に定められたクラス「B」コンピューティングデバイスの制限事項に準拠しており、住宅に設置し操作される場合、干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されています。ただし、正しくインストールが行われている場合においても、絶対に妨害を招かないという保証はありません。本製品がラジオもしくはテレビ受信に対して妨害を招き、装置の電源を入れたり切ったりすることで、本製品が原因であることが明らかである場合は、以下の要領で妨害の修正を試みて下さい。

- 受信アンテナを再編成するか、位置を移動する。
- 本装置と受信機の間隔を広げる。
- 本装置を、受信機が接続されているものとは別の電源に接続し直す。
- ラジオ/テレビの専門技師に問い合わせる。

注意: 当Class Bデジタル機器は、カナダICES-003に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

カナダ産業省の規制情報

本装置の操作は以下の条件の対象となります。

- (1) この装置は、干渉を引き起こす場合があります、そして、
- (2) 本装置は操作に有害な干渉を含め、すべての干渉を受けます。

ユーザーは、RF曝露要件を満たすためにこのマニュアルに指定された通りに本装置を使用する必要がありますことに注意します。このマニュアルに一致しない方法で本製品を使用すると、過度のRF曝露状態につながる可能性があります。

このクラス[B]デジタル装置はカナダICES-003に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe [B] est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

ユーザーへの指示: 本製品は、次の条件を満たすと、FCC機器要件に準拠します。ケーブルにEMIフェライトコアを含める場合は、プロジェクターへのケーブル端にフェライトコア取り付けます。プロジェクターに付属または指定されたケーブルを使用してください。

メモ: 準拠に関する責任当事者の明示的な承認のない変更や修正は、機器を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

IDA標準DA103121に準拠

CEに関する声明

電磁適合性に関する声明: 2004/108/EC 指令に適合

低電圧指令: 2006-95-EC 指令に適合。

WEEEに関する声明

以下の情報は、EUメンバー国用です:

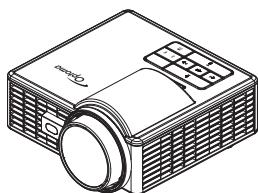
右側に表示されているマークは廃電気電子機器指令2002/96/EC (WEEE) に準拠していません。マークは、地方自治体の廃棄物として機器を廃棄せず、現地の法律に従って適切な回収システムを使用するように要件を示します。



はじめに

同梱されているもの

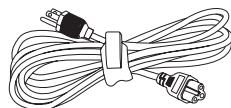
このプロジェクターには次のものが付属しています。すべてのアイテムがあることを確認し、欠けているものがある場合は、最寄りの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。



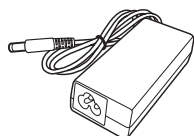
プロジェクター



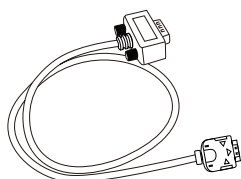
レンズキャップ



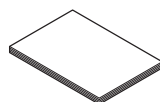
電源ケーブル



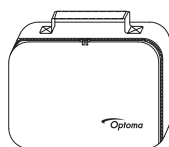
ACアダプタ



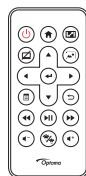
ユニバーサル 24ピン VGA
ケーブル



基本ユーザーマニュアルおよび
文書



キャリーケース

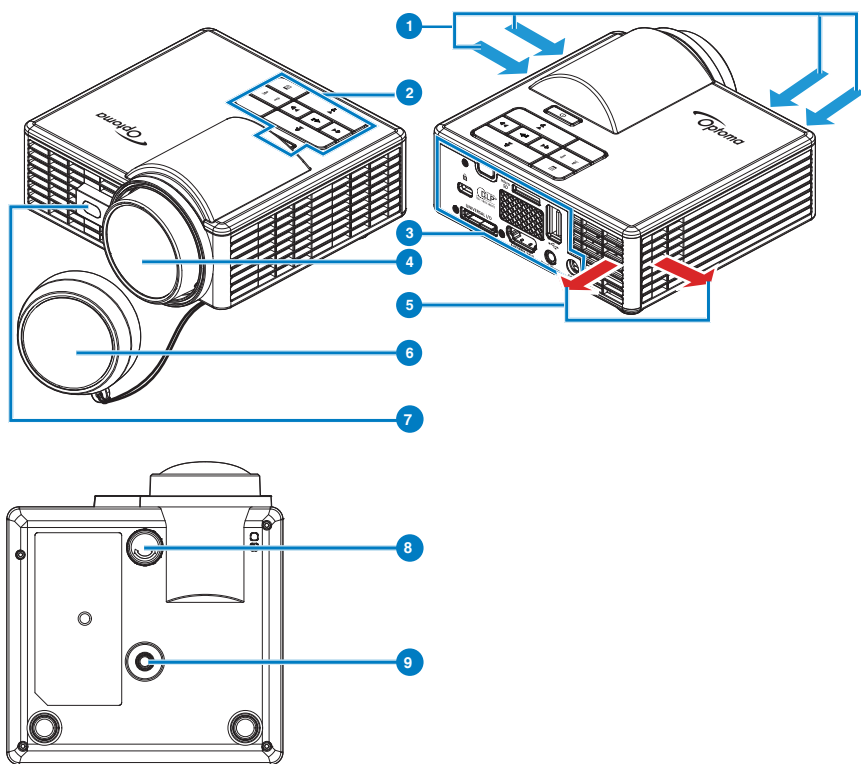


リモコン

メモ: リモコンは、電池付きで出荷されます。

プロジェクターについて

本体



説明

- 1 換気(吸気口)
- 2 コントロールパネル
- 3 入力/出力接続
- 4 レンズ
- 5 換気(排気口)

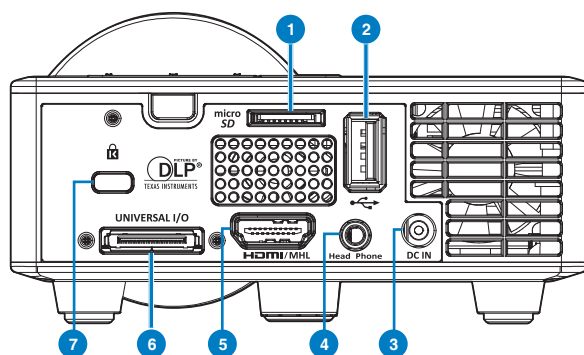
説明

- 6 レンズキャップ
- 7 オートフォーカス検出用レーザーセンサー
- 8 傾斜調整ホイール
- 9 三脚用ねじ穴

メモ:

- プロジェクターの吸気口および排気口を塞がないようにしてください。
- 密閉された空間でプロジェクターを動作させる場合は、吸気口および排気口の周りに少なくとも 15 cm の隙間をあげてください。

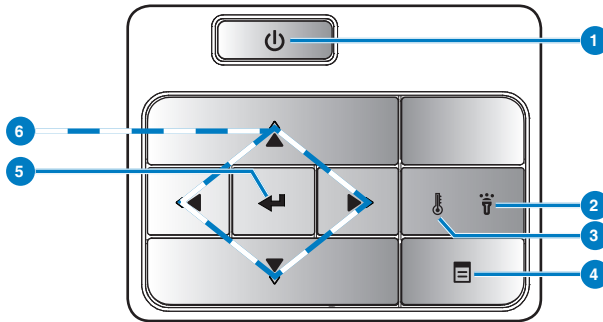
入力/出力接続



説明

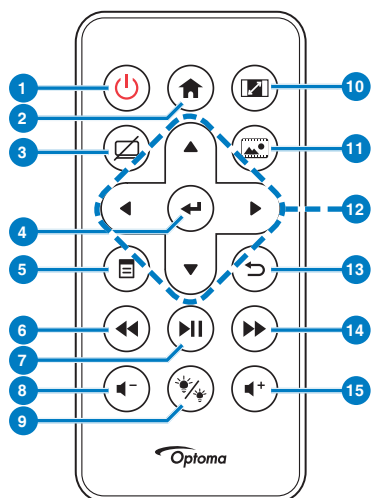
- 1 マイクロSDカードスロット
- 2 USBタイプAコネクタ
- 3 DC入力コネクタ
- 4 ヘッドフォンコネクタ
- 5 HDMI/MHLコネクタ
- 6 ユニバーサルI/Oコネクタ
- 7 セキュリティケーブルスロット

コントロールパネル



#	名称	説明
1	消費電力	プロジェクターの電源のオン/オフを切り替えます。
2	エラーLED	エラーLEDがオレンジ色で点灯している場合、LEDの1つが故障しています。プロジェクターは自動的にシャットダウンします。
3	温度LED	TEMPのオレンジ色のインジケータが点滅している場合、次の問題のどれかが原因と思われます。 <ul style="list-style-type: none">• プロジェクターの内部温度が高すぎます。• ファンが故障しています。
4	メニュー	このボタンを押してOSDを起動します。方向キーと メニュー ボタンを使って、OSDをナビゲートします。
5	入力する	このボタンを押して選択項目を確定します。
6	4方向選択キー	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。

リモコン



#	名称	説明
1	電源 (⏻)	プロジェクターの電源のオン/オフを切り替えます。
2	ホーム (🏠)	このボタンを押して、ホームページに戻ります。
3	ミュート (🔇)	このボタンを押して、OSDメニューで選択した消音オプションに応じて、オーディオおよび/またはビデオを消音/消音解除します (メイン > セットアップ > 詳細設定 > ミュート)。
4	入力する (⏪)	このボタンを押して選択を確定します。
5	メニュー (☰)	このボタンを押してOSDを起動します。
6	巻き戻し (⏮)	押すと、逆行に検索します。
7	再生/一時停止 (⏸)	このボタンを押してメディアファイルを再生/一時停止します。
8	音量ダウン (🔊)	このボタンを押して音量を下げます。
9	LEDモード (🔆)	表示モードを選択できます。
10	アスペクト比 (📐)	このボタンを押して、表示された画像のアスペクト比を変更します。
11	メディアモード (📀)	このボタンを押して、入力ソースをメディアに変更します。
12	上/下/左/右	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
13	戻る (⏪)	このボタンを押して、前のページに戻ります。
14	早送り (⏭)	押すと、前方に検索します。
15	音量アップ (🔊)	このボタンを押して音量を上げます。

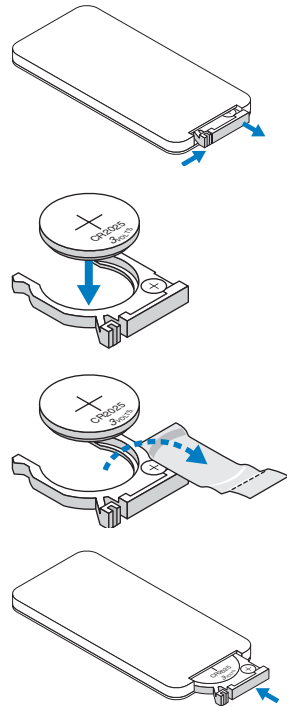
メモ: ホームおよび戻るボタンは、メディアモードでのみ使用することができます。

リモートコントロール電池の取り付け

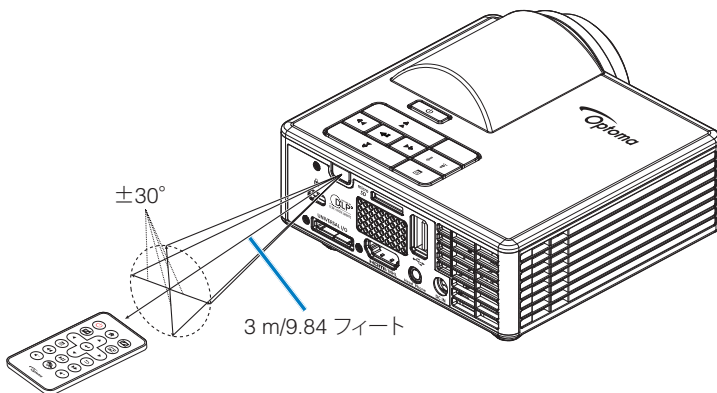
1. 側面をしっかり押され、バッテリーホルダーを引き出してバッテリーホルダーを取り外します。
2. CR2025ボタン電池を入れ、バッテリーホルダーのマークに合わせて電極を正しい向きに合わせます。

メモ: リモコンを初めて使用する際は、バッテリーと端子の間にプラスティックシートが挟んであります。ご使用前にそのシートを取り出してください。

3. バッテリーホルダーを元に戻します。



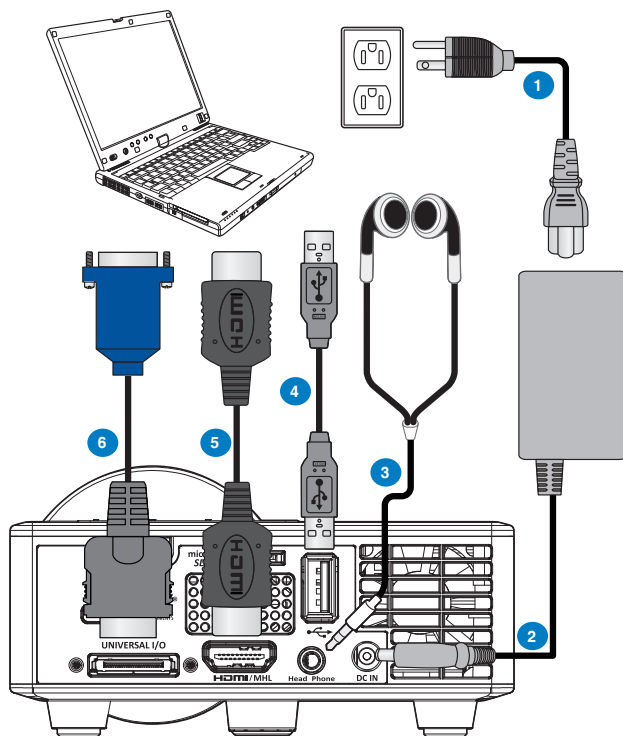
リモコンの動作範囲



メモ: 実際の動作範囲は、図とわずかに異なることがあります。更に、電池が弱るとリモコンの動作範囲が狭くなったり、リモコンが動作しなくなります。

設置

コンピュータへの接続



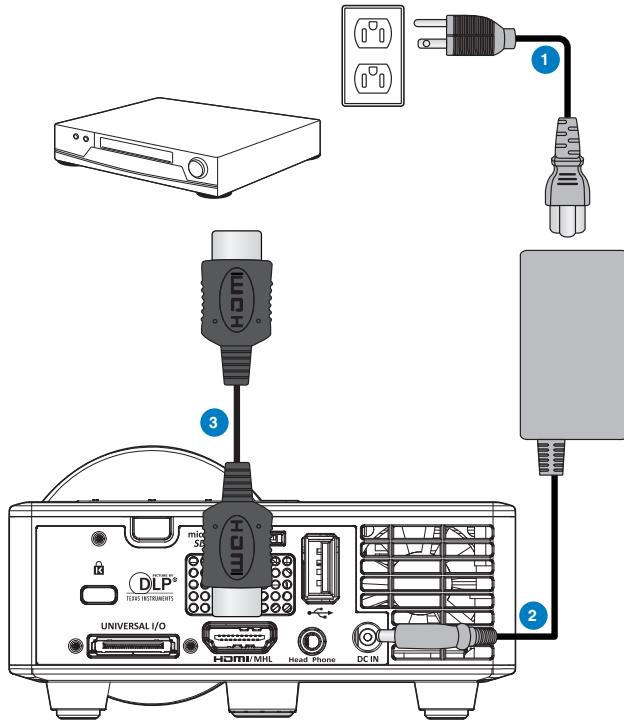
説明

- 1 電源コード
- 2 ACアダプタ
- 3 オーディオケーブル (*1)
- 4 USB-A - USB-A ケーブル (*2)
- 5 HDMI ケーブル (*2)
- 6 ユニバーサル 24ピン VGA ケーブル

メモ:

- (*1) プロジェクターは、TRS タイプのオーディオケーブル(マイク機能無し)のみをサポートします。一部のヘッドセットでは、インピーダンスの違いにより、音量レベルの若干の差に気付く可能性があります(低音量)。
- (*2) 付属品はプロジェクターに同梱されません。

DVDプレーヤーへの接続

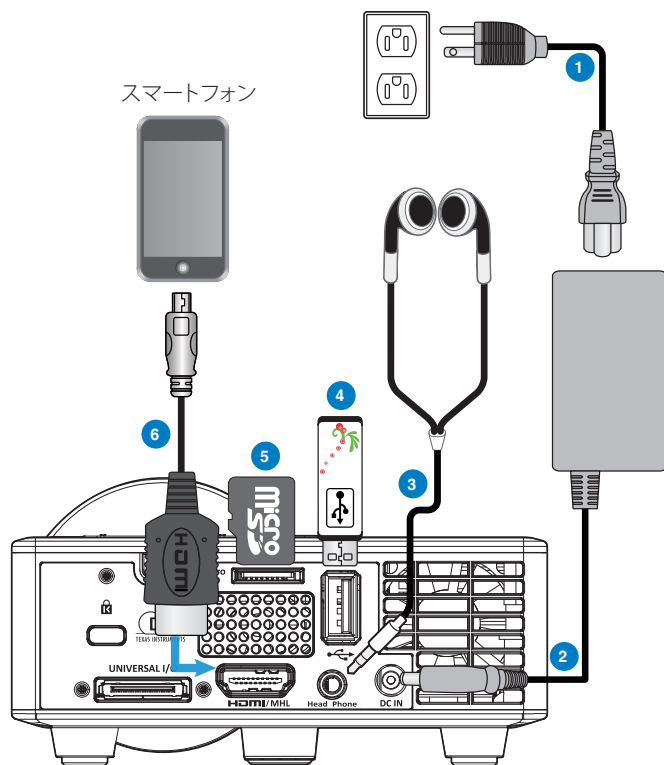


説明

- 1 電源コード
- 2 ACアダプタ
- 3 HDMI ケーブル (*2)

メモ: (*2) 付属品はプロジェクターに同梱されません。

マルチメディアへの接続



説明

- 1 電源コード
- 2 ACアダプタ
- 3 オーディオケーブル (*1)
- 4 USB フラッシュディスク (*2)
- 5 マイクロ SD カード (*2)
- 6 MHL ケーブル (*2)

メモ:

- (*1) プロジェクターは、TRS タイプのオーディオケーブル(マイク機能無し)のみをサポートします。一部のヘッドセットでは、インピーダンスの違いにより、音量レベルの若干の差に気付く可能性があります(低音量)。
- (*2) 付属品はプロジェクターに同梱されません。

プロジェクターの電源を入れる/切る

プロジェクターの電源を入れる

メモ: プロジェクターの電源をオンにしてから、ソース(コンピュータ、DVDプレーヤーなど)の電源をオンにしてください。電源ボタンを押すまで、ボタンはオレンジ色に点滅します。

1. ACアダプタと一緒に電源コードと適切な信号ケーブルをプロジェクターに接続します。
2. レンズキャップを外します。
3. **電源**ボタンを押します。
4. ソース(コンピュータ、DVDプレーヤーなど)の電源を入れます。
5. 適切なケーブルを使用して、プロジェクターにソースを接続します。
6. 入力ソースは、前回接続した入力ソースで決まります。(デフォルトで、プロジェクターの入力ソースはマルチメディアに設定されています)。必要に応じて、プロジェクターの入力ソースを変更してください。

プロジェクターの電源を切る

メモ: 「電源ボタンを押してプロジェクターの電源をオフにします。」メッセージが画面に表示されます。メッセージは5秒後に消えるのを待つか、**メニュー**ボタンを押してメッセージを消去します。

1. **電源**ボタンを押します。プロジェクターを適切にオフにするには、スクリーンに表示される指示に従ってください。
2. **電源**ボタンをもう一度押します。冷却ファンが3～5秒間作動します。
3. コンセントとプロジェクターから電源ケーブルとACアダプタの接続を外します。

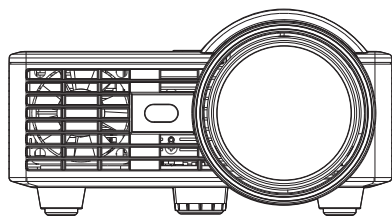
投影画像の調整

プロジェクターの高さを上げる

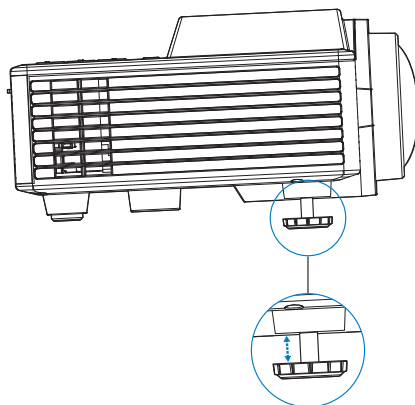
プロジェクターを任意の高さまで上げ、前面傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。

プロジェクターの高さを下げる

プロジェクターを下げ、前面傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。

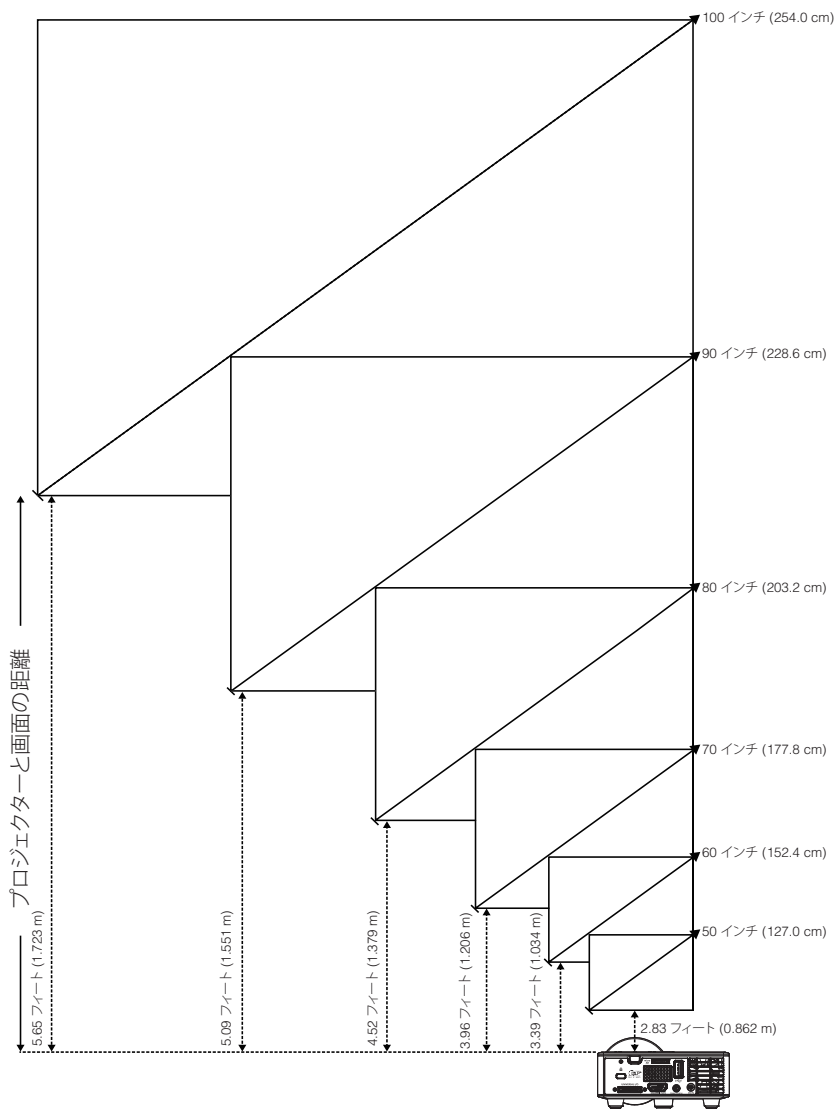


前面傾斜調整ホイール
(傾斜角度: 0~3度)



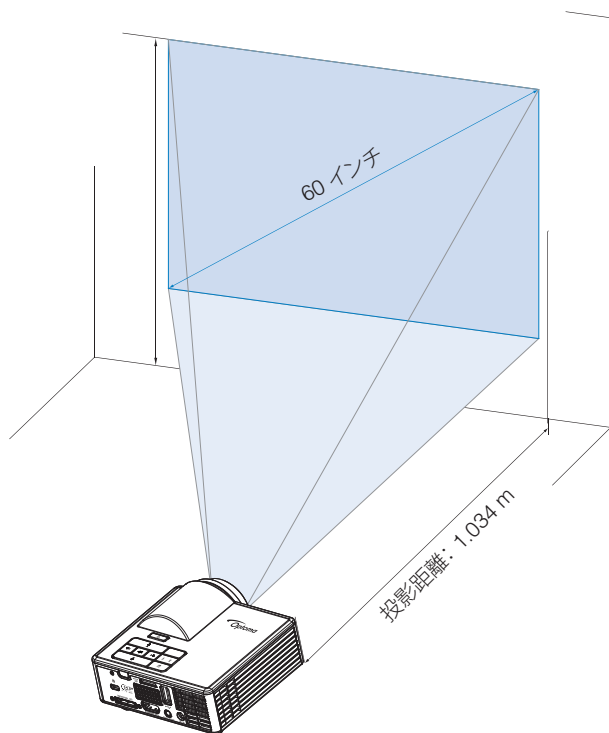
重要な注意: プロジェクターを移動したり、キャリーケースに収納する場合には、調整ホイールが完全に引っ込んでいることを確認して、プロジェクターが破損しないようにします。

投影画像サイズの調整



対角	画面サイズ		投影距離
	幅	高さ	
50 インチ (127.0 cm)	42.52 インチ (108 cm)	26.38 インチ (67 cm)	2.83 フィート (0.862 m)
60 インチ (152.4 cm)	50.79 インチ (129 cm)	31.89 インチ (81 cm)	3.39 フィート (1.034 m)
70 インチ (177.8 cm)	59.45 インチ (151 cm)	37.01 インチ (94 cm)	3.96 フィート (1.206 m)
80 インチ (203.2 cm)	67.72 インチ (172 cm)	42.52 インチ (108 cm)	4.52 フィート (1.379 m)
90 インチ (228.6 cm)	76.38 インチ (194 cm)	47.64 インチ (121 cm)	5.09 フィート (1.551 m)
100 インチ (254.0 cm)	84.65 インチ (215 cm)	53.15 インチ (135 cm)	5.65 フィート (1.723 m)

メモ: このグラフはユーザーの参照用です。



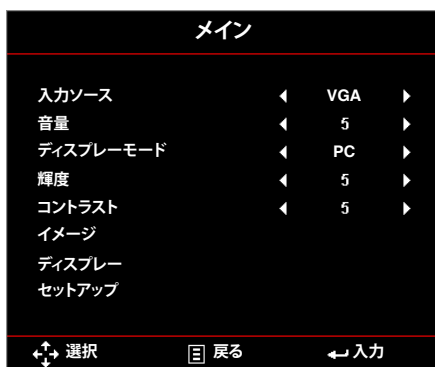
ユーザー制御

オンスクリーンディスプレイの使用方法

1. プロジェクターには多言語のオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューがあり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。
2. コントロールパネルまたはリモコンの**メニュー**ボタンを押して「メインメニュー」に移動します。
3. オプションを選択するには、プロジェクターのコントロールパネルまたはリモコンの**▲**または**▼**ボタンを押します。
4. コントロールパネルまたはリモコンの**◀**または**▶**ボタンを使って設定を調整します。
5. OSDを終了するには、コントロールパネルまたはリモコンの**メニュー**ボタンを直接押します。

メインメニュー

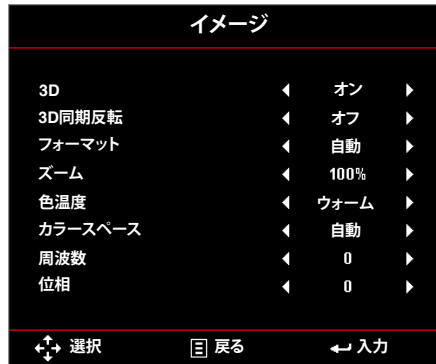
メインメニューを使って、入力ソースの選択、音量の調整、ディスプレイモードの選択、輝度、コントラスト、画像、表示の設定、および、設定のセットアップを行うことができます。



- **入力ソース**: プロジェクターの入力ソースを選択します。オプション: **VGA**、**HDMI/MHL**、および**Media**。
- **音量**: 音量を調整します。
メモ: オーディオ出力は、**VGA** モードではサポートされません。
- **ディスプレイモード**: 表示画像を最適化します。オプション: **ブライト**、**PC**、**シネマ/iDevice***、**フォト**、および**エコ**。
メモ: * **iDevice** オプションは、**シネマ** オプションを入力ソースが**HDMI**で、**iDevice** オプション (**メイン > セットアップ > 詳細設定**) が有効である場合、置換します。
- **輝度**: 画像の輝度を調整します。
- **コントラスト**: 表示コントラストを調整します。

イメージ

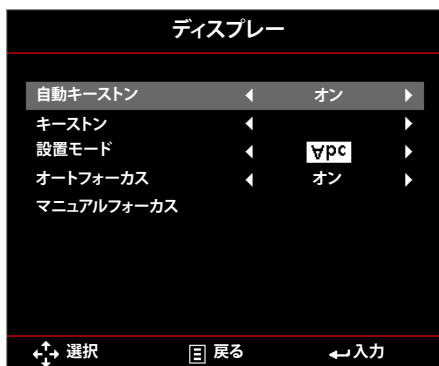
画像メニューを使って、3D 関連、フォーマット、ズーム、色温度、色空間などの様々な画像設定を変更することができます。



- **3D**: 3D 機能のオン/オフを切り替えます。
- **3D同期反転**: 3D 同期反転オプションのオン/オフを切り替えます。
メモ:
 - 画像設定を選択している時は、3D/3D 同期反転を変更することはできません。
 - 3D モードでは、サポートされる最大入力タイミングは 1024x768 @ 120Hz です。
- **フォーマット**: 画像の表示方法を調整するには、フォーマットを選択します。オプション:
 - **自動**: 入力ソースに従って画像プロジェクターの縦横比を維持します。
 - **4:3**: 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、4:3 画像を投影します。
 - **16:9**: 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:9 画像を投影します。
 - **16:10**: 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:10 画像を投影します。
- **ズーム**: 画像をズームインまたはズームアウトします。オプション: 50 %、75 %、100 %、125 %、150 %、175 %、または、200 %。
- **色温度**: 色温度を選択します。オプション: **ウォーム**、**ミディアム**、および**コールド**。
メモ: 色温度機能は、**ブライト**、**エコ**、および**3D モード**ではサポートされません。
- **カラースペース**: 適切な色マトリクスタイプを選択します。オプション: **自動**、**RGB**、および**YUV**。
メモ: 色空間機能は、**HDMI モード**でのみサポートされます。
- **周波数**: ディスプレイのデータクロック周波数を変更し、コンピュータのグラフィックカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は、周波数コントロールを使って縦線を最小限に抑えます。これは粗調整です。
メモ: 周波数は、**VGA モード**でのみ調整することができます。
- **位相**: ディスプレイの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたりちらついたりする場合は、位相を使って修正します。これは微調整です。
メモ: 位相は、**VGA モード**でのみ調整することができます。

ディスプレイ

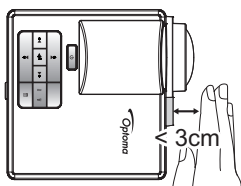
表示メニューを使って、キーストン、投影、オートフォーカスやマニュアルフォーカスなどの表示設定を変更することができます。



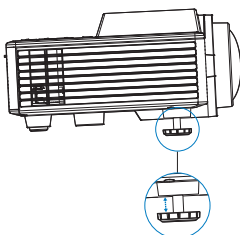
- **自動キーストン:** オンを選択して、プロジェクターを傾けた場合の歪みを自動的に調整します。
メモ: 自動キーストン機能は、垂直方向の画像の歪みを調整するためにのみ使用することができます。
- **キーストン:** プロジェクターの傾きによって起こる歪みを調整します (± 40 度)。
メモ: キーストンの度合いを手動で調整する場合は、自動キーストン機能は自動的にオフに切り替わります。
- **設置モード:** プロジェクターの取り付け方法に応じて、投影モードを選択します。
 - **自動キーストン:** オン
 - Abc 反転なし
 - ɔdA 左右反転
 - **自動キーストン:** オフ
 - Abc 反転なし
 - ɔdA 左右反転
 - Abc 上下反転
 - ɔdA 上下および左右反転

- **オートフォーカス：オン**を選択して、イメージのフォーカスを自動的に調整します。

メモ 1: 投影されるイメージが不鮮明な場合は、プロジェクターの正面 (3 cm 未満) を 1 秒間覆って、解放してください。プロジェクターの調整が、ゼロにリセットされます。



メモ 2: ゼロ調整を行った後、投影されるイメージが鮮明でない場合は、フロント傾き調整ホイールを回転させて、プロジェクターを所望の表示角度に上げて、プロジェクターの調整をゼロにリセットします。

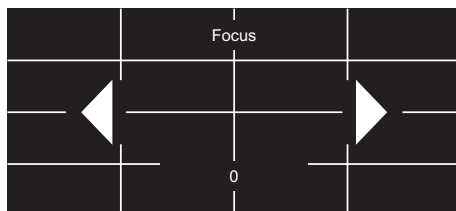


メモ 3: 上記の 2 つの手順を行った後、投影されるイメージが鮮明でない場合は、イメージのフォーカスを手動で調整する必要があります。手動調整のために、校正画面にアクセスするには、次のいずれかを行ってください:

- マニュアルフォーカスを OSD メニュー (ディスプレイ > マニュアルフォーカス) から選択します。
- コントロールパネル/リモコンの ◀ または ▶ ボタンを長押しします。

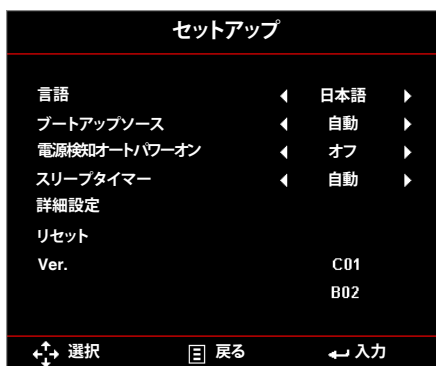
- **マニュアルフォーカス：**オートフォーカスオプションがオフのとき、イメージのフォーカスを手動で調整します。

メモ: 校正画面が表示されたら、まず、コントロールパネル/リモコンの ◀ または ▶ ボタンを長押しして、粗いフォーカス調整を行い、次に、◀ または ▶ ボタンを短く押して、フォーカスを微調整します。

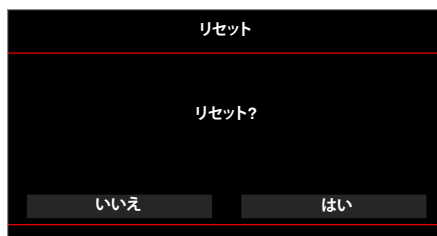


セットアップ

セットアップメニューを使用して、デフォルト OSD 言語の選択、ブートアップ ソースの変更、スリープタイマーおよびその他のオプションの設定を行うことができます。



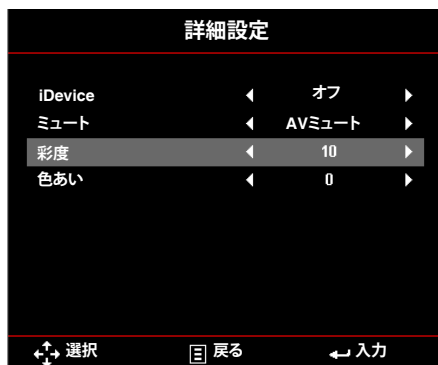
- **言語**：OSD の言語を選択します。オプション：英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ポーランド語、オランダ語、ロシア語、スウェーデン語、ギリシャ語、繁体字中国語、簡体字中国語、日本語、韓国語およびトルコ語。
- **ブートアップソース**：プロジェクターの起動ソースを選択します。オプション：**自動**、**VGA**、**HDMI/MHL**、および**Media**。
メモ：ブートアップ ソースが「自動」に設定されている場合、プロジェクターの起動時に、入力ソースは、常に、前セッションと同じに選択されます。
- **電源検知オートパワーオン**：**オン**を選択て、ダイレクトパワーモードを起動します。プロジェクターコントロールパネルまたはリモコンで**電源**ボタンを押さない場合、AC 電力の供給時にプロジェクターの電源が自動的に入ります。
- **スリープタイマー**：カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終わると、プロジェクターの電源が自動的に切れます。オプション：**自動**、**オフ**、**0:30**、**1:00**、**3:00**、**8:00**、**12:00**。
メモ：スリープタイマーが「自動」に設定され、信号が検出されない場合、プロジェクターは、15 分後に自動的に電源オフになります。
- **リセット**：コンピュータソースおよびビデオソース設定を含むすべての設定を出荷時にリセットします。このオプションを選択すると、確認メッセージが画面上に表示されます。「はい」を選択して、リセットを確認するか、「いいえ」を選択してキャンセルします。



- **Ver.**：プロジェクターの現在のファームウェアバージョンを表示します。

詳細設定

詳細メニューを使って、**iDevice**、**ミュート**、**彩度**、および、**色あい**の設定を変更することができます。



- **iDevice:** **オン**を選択して、ライトニング HDMI アダプタを通して、iDevice (iPhone/ iPad/ iPod) からの画像を投影する際、最高の色再現を表示します。
メモ: iDevice からの画像を投影する場合は、ライトニング HDMI アダプタを介してデバイスをプロジェクターに接続し、入力ソースを **HDMI** に設定し、**iDevice** オプションを有効にし (メイン > セットアップ > 詳細設定)、**iDevice** を表示モードに設定します (メイン > ディスプレーモード)。
- **ミュート:** ミュートモードを選択します。オプション: **AVミュート** (オーディオとビデオの両方を消音)、**オーディオ** (オーディオのみを消音)、および、**ビデオ** (ビデオのみを消音)。
メモ: リモコンの**ミュートボタン** (Ⓜ) の機能は、OSD メニューで選択した「ミュート」オプションに依存します。
- **彩度:** 画像の彩度を調整します。
メモ: 彩度は、ビデオタイミング 1080p/i、720p、および、480p/i をサポートする HDMI モードでのみ調整することができます。
- **色あい:** 画像の色合いを調整します。
メモ: 色合いは、ビデオタイミング 1080p/i、720p、および、480p/i をサポートする HDMI モードでのみ調整することができます。

マルチメディアの概要

サポートされているマルチメディア形式:

写真形式

画像タイプ (拡張子名)	サブタイプ	エンコードタイプ	最大サイズ
Jpeg / Jpg	ベースライン	YUV420	4000x4000=16,000,000 ピクセル
		YUV422	
		YUV440	
		YUV444	
	プログレッシブ	YUV420	4000x4000=16,000,000 ピクセル
		YUV422	
		YUV440	
		YUV444	
BMP			4000x4000=16,000,000 ピクセル

ビデオ形式

ファイル形式	ビデオ形式	デコード最大 解像度	最大ビットレート (bps)	オーディオ形式	プロフィール
MPG、MPEG	MPEG1	1920x1080 30fps	30M bps	MPEG1 L1-3	
AVI、MOV、 MP4、MKV	H.264	1920x1080 30fps	30M bps	MPEG1 L1-3 HE-ACC v1 AC3	BP/MP/HP
AVI、MOV、 MP4、	MPEG4	1920x1080 30fps	30M bps	HE-ACC v1	SP/ASP
AVI、MOV、 MP4、	Xivd	1920x1080 30fps	30M bps	MPEG1 L1-3 HE-ACC v1	HD
AVI	MJPEG	8192x8192 30fps	30Mbps	MPEG1 L1-3 HE-ACC v1	ベースライン
WMV	VC-1	1920x1080 30fps	30M bps	WMA8/9 (V1/v2)	SP/MP/AP

オーディオ形式

音楽タイプ (拡張子名)	サンプルレート(KHz)	ビットレート(Kbps)
MP3	8-48	8-320
WMA	22-48	5-320
ADPCM-WAV(WAV)	8-48	32-384
PCM-WAV(WAV)	8-48	128-1536
AAC	8-48	8-256

Office ビューアー形式

ファイル形式	サポートバージョン	ページ/行の制限	サイズの制限
Adobe PDF	PDF 1.0、1.1、1.2、1.3、1.4	最大1,000ページ(1つのファイル)	最大75MByte
MS Word	British Word 95、 Word 97、2000、2002、2003 Word 2007 (.docx)、 Word 2010 (.docx)、	Office ビューアーは、MS Word ファイルのすべてのページを同時に読み込むわけではないため、ページと行に明白な制限はありません。	最大100MByte
MS Excel	British Excel 5、95 Excel 97、2000、2002、2003 Excel 2007(.xlsx)、 Excel 2010(.xlsx) Office XP Excel	行の制限：最大595 列の制限：最大256 シート：最大100	最大15MByte

メモ: 上記の3つの制限のいずれかが同時に一つの Excel ファイルに存在することはできません。

ファイル形式	サポートバージョン	ページ/行の制限	サイズの制限
MS PowerPoint	British PowerPoint 97	最大1,000ページ(1つのファイル)	最大19MByte
	PowerPoint 2000、2002、2003		
	PowerPoint 2007 (.pptx)		
	PowerPoint 2010 (.pptx)		
	Office XP PowerPoint		
	PowerPointプレゼンテーション 2003およびそれ以前のバージョン (.ppx)		
	PowerPointプレゼンテーション 2007および2010 (.ppsx)		

メモ:

- MS PowerPoint ファイルを表示する際、アニメーションはサポートされません。
- ファイルを投影する際、一部の文書は、PC の画面と同じように表示されない場合があります。

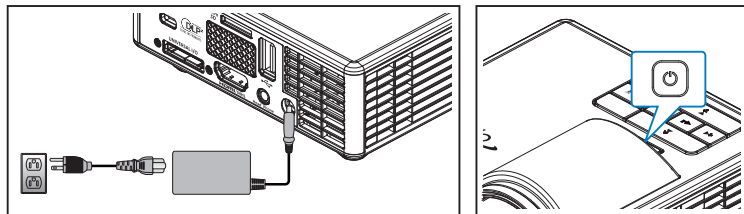
USBを使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法

メモ:

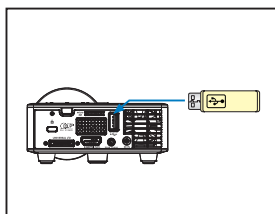
1. マルチメディアUSB機能を使用する場合、プロジェクターにUSBフラッシュディスクをつなぐ必要があります。
2. 互換性の問題があることから、USBポートをカメラに接続しないでください。

以下のステップに従って、プロジェクターで写真、ビデオ、または音楽ファイルを再生します。

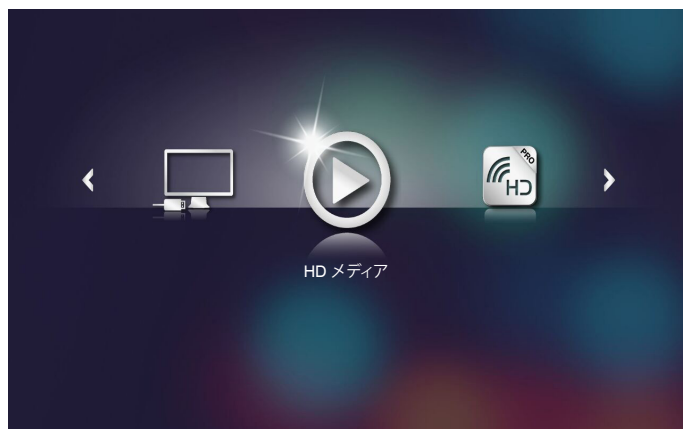
1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクターの電源をオンにします。



2. USBフラッシュディスクをプロジェクターに差し込みます。



マルチメディアメニューが開きます。

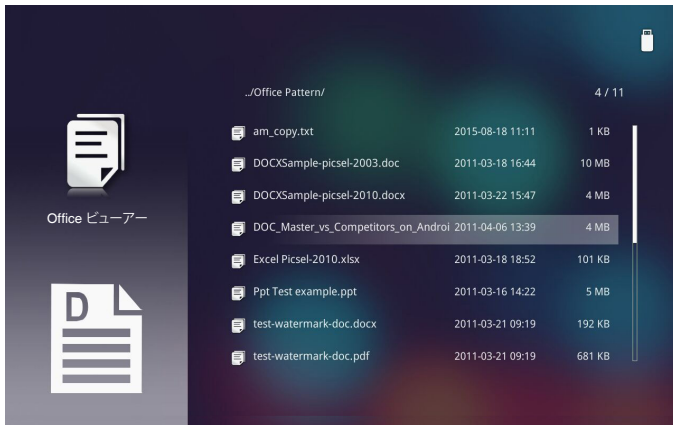


- メモ:** メインメニューを開くには、リモコンのメニューボタンを押すか、プロジェクターのコントロールパネルのメニューボタンを1秒間長押しします。

3. **HD メディアメニュー**を選択します。
HD メディアメニューが開きます。



4. **USB** メニューにアクセスし、マルチメディアファイルを選択します：**フォト**、**ビデオ**、または**音楽**。または、**設定**オプションを選択して、**フォト**、**ビデオ**、または**音楽**に対する設定を変更します。
5. 開くファイルを選択します。



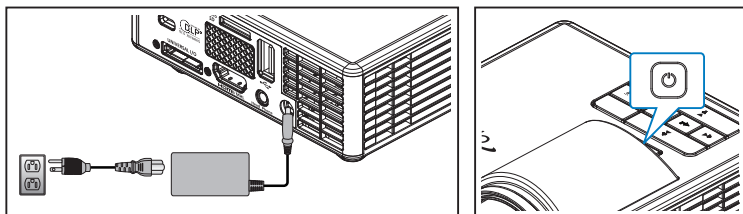
メモ: 許容される最大ファイル名長さは 28 文字です。

マイクロSDを使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法

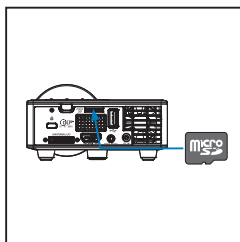
メモ: マルチメディアマイクロSD機能を使用する場合、プロジェクターにマイクロSDカードを入れる必要があります。

以下のステップに従って、プロジェクターで写真、ビデオ、または音楽ファイルを再生します。

1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し、**電源**ボタンを押してプロジェクターの電源をオンにします。



2. **マイクロSDカード**をプロジェクターに差し込みます。



マルチメディアメニューが開きます。

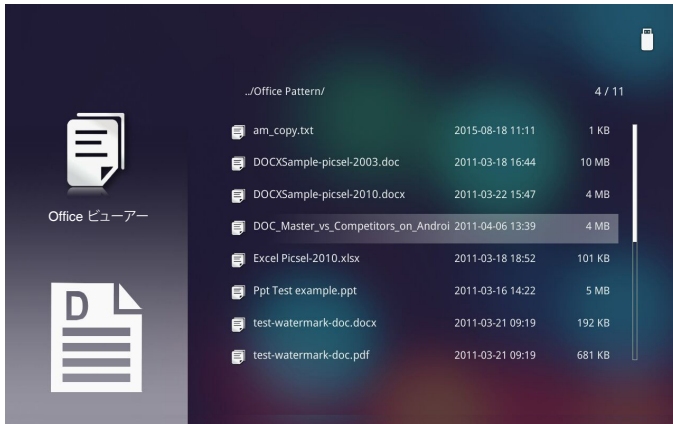


メモ: メインメニューを開くには、リモコンの**メニュー**ボタンを押すか、プロジェクターのコントロールパネルの**メニュー**ボタンを1秒間長押しします。

3. **HD メディア**メニューを選択します。
HD メディアメニューが開きます。



4. **SD カード**メニューにアクセスし、マルチメディアファイルを選択します：**フォト**、**ビデオ**、または、**音楽**。または、**設定**オプションを選択して、**フォト**、**ビデオ**、または、**音楽**に対する設定を変更します。
5. 開くファイルを選択します。



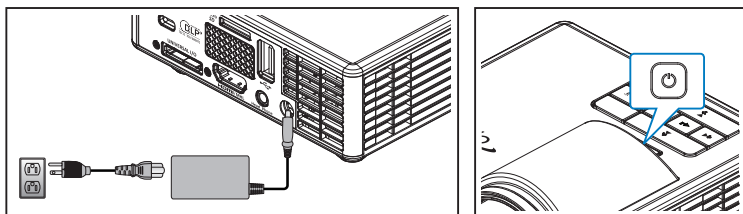
メモ: 許容される最大ファイル名長さは 28 文字です。

内部メモリを使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法

メモ: マルチメディアマイクロSD機能を使用する場合、プロジェクターにマイクロSDカードを入れる必要があります。

以下のステップに従って、プロジェクターで写真、ビデオ、または音楽ファイルを再生します。

1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し、**電源**ボタンを押してプロジェクターの電源をオンにします。



マルチメディアメニューが開きます。

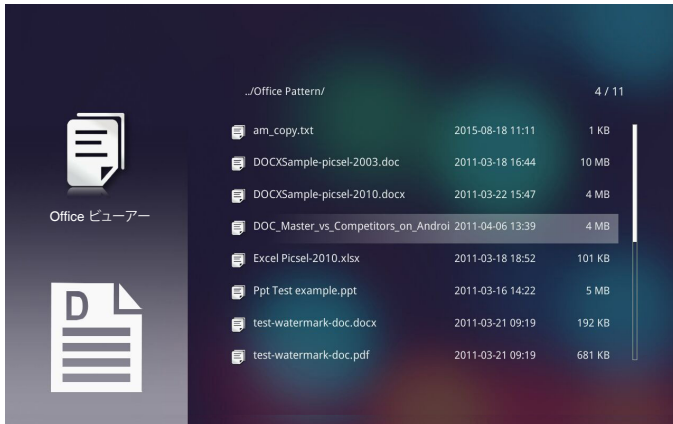


メモ: メインメニューを開くには、リモコンの**メニュー**ボタンを押すか、プロジェクターのコントロールパネルの**メニュー**ボタンを1秒間長押しします。

2. **HD メディアメニュー**を選択します。
HD メディアメニューが開きます。



3. **内部メモリ**メニューにアクセスし、マルチメディアファイルを選択します：**フォト**、**ビデオ**、または、**音楽**。または、**設定**オプションを選択して、**フォト**、**ビデオ**、または、**音楽**に対する設定を変更します。
4. 開くファイルを選択します。



メモ: 許容される最大ファイル名長さは 28 文字です。

マルチメディアメインメニュー



システム、USB、マイクロ SD、および、内部メモリに対するマルチメディア設定

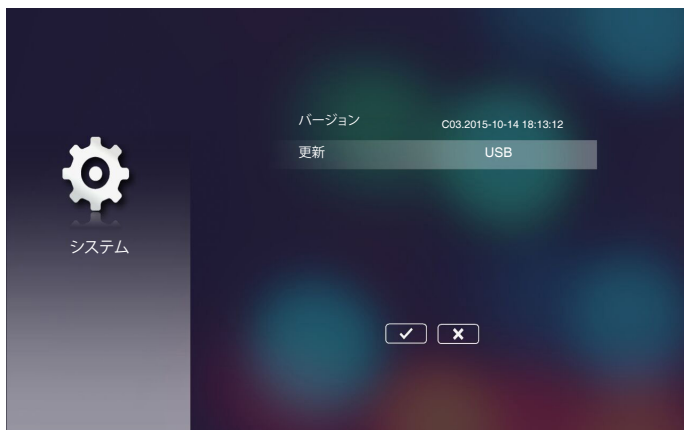
マルチメディア設定メニューを使って、システム、フォト、ビデオ、および、音楽に対する設定を変更することができます。



メモ: USB、MicroSD、および内部メモリに対するマルチメディアセットアップメニューおよび設定は共通です。

システム設定

システム設定メニューにアクセスします。システム設定メニューには、次のオプションがあります：



■ バージョン

プロジェクターの現在のファームウェアを表示します。

■ 更新

プロジェクターのファームウェアを **USB** スティックからのみ更新します。

写真設定

写真設定メニューにアクセスします。写真設定メニューには次のオプションがあります：



■ 表示比

写真のディスプレイ比を**元**または**全画面**として選択します。

■ スライドショーパターン

スライドショー効果を選択します。オプション：**ランダム**、**リング拡散**、**真ん中の拡大**、**ブリンクの拡張**、**日よけ**、**線形相互作用**、**クロスインターリーブド**、**バンディング代替**、**長方形の拡大**。

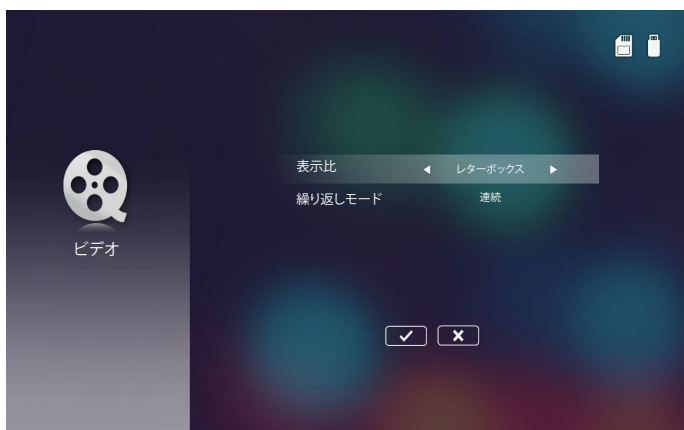
■ スライドショーの時間

スライドショーの時間を選択します。タイムアウトになった後、画像は自動的に次の画像に切り替わります。オプション：**10 秒**、**30秒**、**1 分**。

メモ： スライドショーの時間およびスライドショーパターン機能のみがスライドショーモードに対応しています。

ビデオ設定

ビデオ設定メニューにアクセスします。ビデオ設定メニューには、次のオプションがあります：



■ 表示比

ビデオのディスプレイ比を選択します。

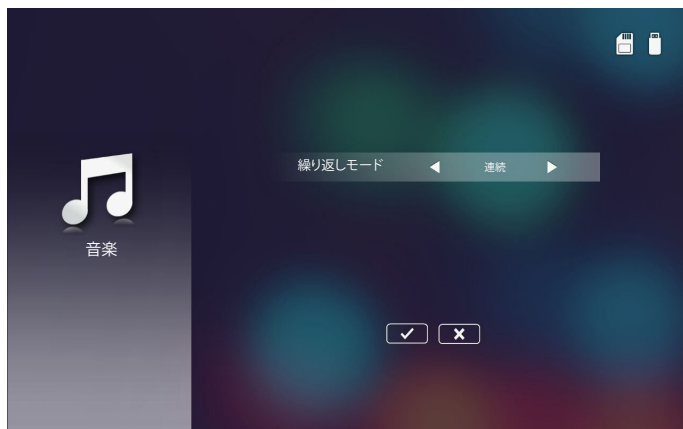
- **レターボックス**：ビデオソースが 16:10 画面に合わない場合、ビデオ画像は、画面に合うように水平方向および垂直方向に均等に伸ばされます。したがって、ビデオの一部が上側と下側（左側と右側）で切り取られ、ビデオの周りに「黒いバー」として表示されます。
- **カット画面**：選択して、スケーリングのないネイティブ解像度でビデオを表示します。投影される画像がスクリーンサイズを超えている場合、切り取られます。
- **全画面**：ネイティブ縦横比に関わらず、16:10 が画面に正確に合うように、ビデオ画像は水平方向および垂直方向に非線形的に伸ばされます。ビデオ画像の周りに「黒いバー」は表示されませんが、元のコンテンツの割合は変形している場合があります。
- **元の画面**：選択して、スケーリングのないネイティブ解像度でビデオ画像を表示します。ビデオ解像度が 1280x800 未満の場合は、ビデオ画像の周りに「黒いバー」が表示されます。解像度が 1280x800 を超える場合は、ビデオは 1280x800 解像度で表示されます。

■ 繰り返しモード

ビデオの繰り返しモードを選択します。オプション：**連続**、**シングル**、**ランダム**、**一回**。

音楽設定

音楽設定メニューにアクセスします。音楽設定メニューには、次のオプションがあります：



■ 繰り返しモード

音楽再生モードを選択します。オプション：**連続**、**シングル**、**ランダム**。

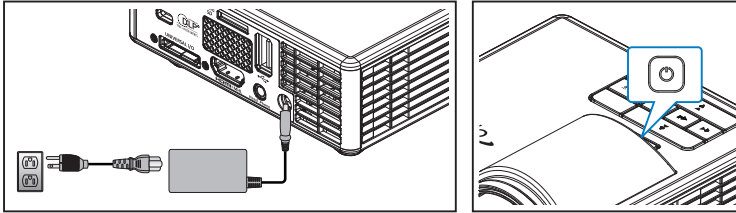
その他のマルチメディア接続

マルチメディアメニューを使って、ファイルを直接プロジェクターにコピーしたり、ポータブル機器の画面を投影したりすることができます。

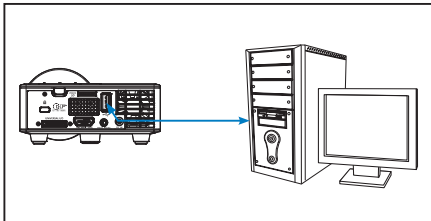
内蔵メモリからファイルを投影する

次の手順に従い、PC からのファイルを投影します：

1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し、**電源**ボタンを押してプロジェクターの電源をオンにします。



2. PC のハードディスクのファイルにアクセスするには、USB-A ケーブルの一端を PC に、USB ケーブルの他端をプロジェクターに差し込みます。



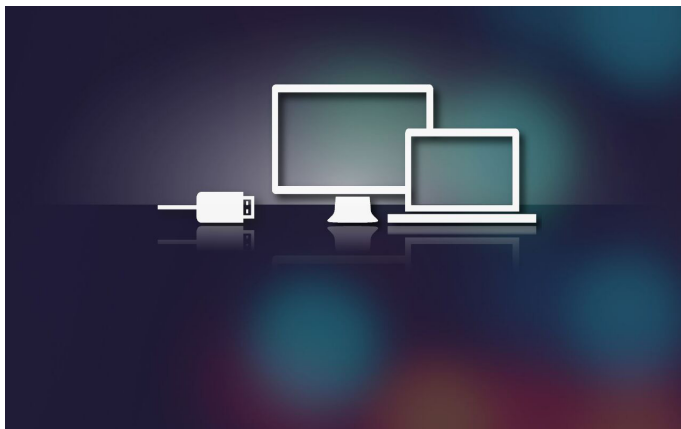
マルチメディアメニューが開きます。



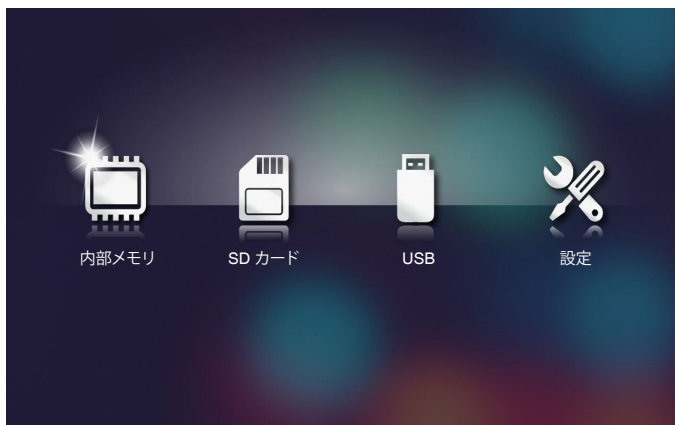
3. **PCへの接続** メニューを選択します。



PCへの接続メニューが開きます。



4. プロジェクターの内部メモリが PC に表示されます。次に、ファイルを PC からプロジェクターの内部メモリにコピーします。
5. **HD メディア > 内部メモリ** メニューを選択し、壁に投影するファイルを選択します。

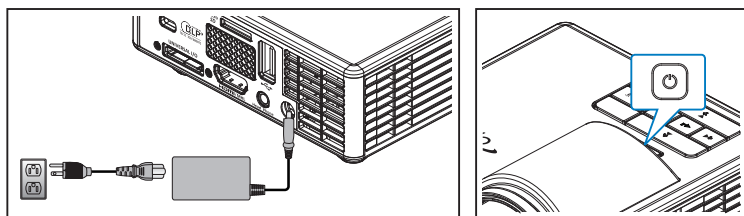


ヒント: また、Windows 10 および Mac OS 10.9 では、PC からのファイルをプロジェクターの内部メモリ、または、プロジェクターに挿入したマイクロ SD カードに直接保存することができます。

ポータブル機器の画面の投影

次の手順に従い、ポータブル機器の画面を投影します：

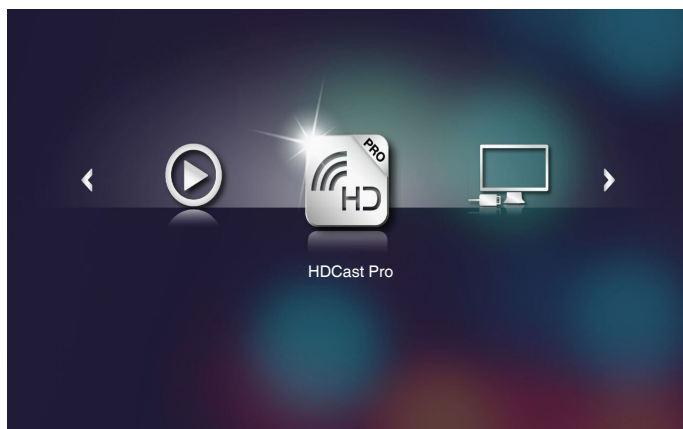
1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクターの電源をオンにします。



マルチメディアメニューが開きます。



2. HD Cast Pro メニューを選択します。



HDCast Pro メニューが開きます。

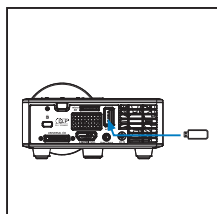


3. 次のいずれかを行います:

- ポータブル機器のオペレーティングシステムに応じて、**App Store** (iOS) または **Google Play** (Android) を開き、**HDCast Pro** アプリをモバイル機器にインストールします。
- モバイル機器を使って、**HDCast Pro** メニューの QR コードをスキャンし、画面上の指示に従い **HDCast Pro** アプリをインストールします。ノートパソコンを使用される場合は、**HDCast Pro** アプリを www.optoma.com/hdcastpro Web サイトからダウンロードしてください。



4. Wi-Fi ドングルをプロジェクトターに差し込みます。



5. ポータブル機器を Wi-Fi を介してプロジェクトターに接続します。接続パラメータの例は次の通りです:

- プロジェクターの SSID: **HDCastPro_701F96D7**
- Wi-Fi パスワード: **40600759**

メモ: プロジェクターの SSID および Wi-Fi パスワードは、接続する Wi-Fi ドングルにより異なります。

6. ポータブル機器で **HDCast Pro** アプリを開きます。

次の画面が開きます。

Android



Windows



7. メニューから **HDMirror** (Android) を選択し、ポータブル機器の画面の投影を開始します。

自動再生機能(デジタルサイネージモード)

再生

1. コンテンツ

ビデオファイルを全画面再生します。イメージおよびティッカーがありません。

2. ビデオ/オーディオコーデック

サポートされるファイルフォーマットは、以下の通りです:

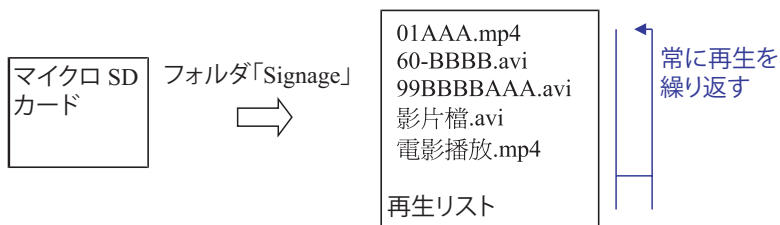
ファイル名の拡張子	ビデオコーデック ^{*1}	オーディオコーデック ^{*1}	メモ ^{*1}
.AVI	XVID	MPEG1、2 - オーディオレイヤ (mpga)	
.MPG、.AVI	MPEG2 (mpgv)	MPEG1、2 - オーディオレイヤ (mpga)	
.MKV、.MOV、MP4、.AVI	H.264 (avc1)	1. AAC (mp4a) 2. MPEG1、2 - オーディオレイヤ (mpga)	Hight@L4.1、 Hight@L4.0、 Hight@L3.1、 Main@L3.1

^{*1} コーデック情報を MediaInfo バージョン 0.7.41

(<http://mediainfo.sourceforge.net/zh-tw/Download/Windows>) または VLC バージョン 1.1.8 から取得します。

3. 再生動作

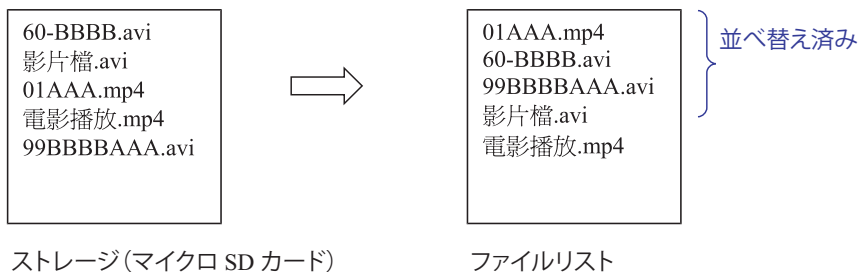
マイクロ SD カードの「Signage」のファイルを、現在並べ替えられている順序で、繰り返し再生します。システムは、「Signage」フォルダのサブフォルダを無視します。



4. ファイルリストの順序

再生リストは、マイクロ SD カードの「Signage」フォルダのすべてのビデオファイルを収集します。(再生リストは、ストレージ内の実際のファイルではありません。これは、プログラムコードです)

ファイル名の最初の 2 文字が 00 ~ 99 である場合、プログラムは、これらのファイルを並べ替え (小さい番号から大きい番号へ)、ファイルリストの先頭に追加します。例えば、次のようになります、



メモ:

- ファイル名の最初の 2 文字が 00 ~ 99 である場合、再生シーケンスは、00、01、02 から始まり、99 まで続きます。
- 「00」という名称のファイルが 2 つある場合は、マイクロ SD カードに保存されている順序で再生されます (しかし、再開シーケンスは変更されません)。再生シーケンスを定義するのが困難な場合は、ファイル名を「00」以外に変更してください。
- ファイル名の最初の 2 文字が数字ではない他の文字である場合、並べ替えは実行されません。マイクロ SD カードに保存されている順序で、メディアファイルは再生されます。再生シーケンスを定義するのが困難な場合は、ファイル名を 00 ~ 99 で始めるように変更してください。
- また、マイクロ SD カードに、音楽、写真、ビデオファイルの組合せが含まれている場合、再生方法は次のようになります:
 1. ファイルにビデオのみが含まれる場合、Signage は、ビデオファイルのみを再生します。
 2. ファイルに写真のみが含まれる場合、Signage は、写真のみを再生します。
 3. ファイルに写真と音楽が含まれる場合、Signage は、写真を再生しながら、バックグラウンドで音楽を再生します。
 また、再生シーケンスは、ファイルの並べ替え方法に依存します。

5. 再生情報の自動無効化

サイネージアプリケーションの冗長情報を避けるため、システムは、サイネージモード中、「再生情報ウィンドウ」(一時停止/開始/次へ/前へ/進捗状況バー…)を自動的に無効化します。

6. エラー処理

システムが、ファイルリストに未サポートのビデオファイルを検出した場合、システムは、このファイルをスキップします。

7. リモートおよびキーパッド処理

「サイネージモード」中、タッチパッドおよびリモコンの「上」、「下」、「左」、「右」、「入力」キーは動作しません。リモコンのその他のキーは動作します。

エラーメッセージ

1. ビデオファイルがありません

マイクロ SD カードを挿入し、「Signage」フォルダにビデオファイルがない場合、システムは、エンドユーザーに通知するために、メッセージウィンドウを表示します。

メッセージウィンドウの例:



2. マイクロ SD カードが取り外されました

再生中にマイクロ SD カードが取りはずされた場合、システムは、エンドユーザーに通知するために、メッセージウィンドウを表示します。

メッセージウィンドウの例:



電源 オン/オフ

1. 電源検知オートパワーオン

この設定を有効にすると、システムは、AC 接続により、電源オンモードに直接変更します（「電源オフモード」は、「電源オンモード」に切り替わり、「スタンバイモード」がスキップされます）。

2. オフタイマー

システムには、この設定のために、0 ～ 995 で、各ステップが 5 である 1 つのパラメータがあります。

「0」は、この機能が無効であることを意味し、「995」は、995 分後に自動的に電源オフになることを意味します。

付録

トラブルシューティング

プロジェクターに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解決しない場合は、最寄りの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。

問題	解決方法
画面に画像が表示されない。	<ul style="list-style-type: none">プロジェクターの電源がオンになっていることを確認します。OSD メイン > 入力ソースメニューで正しい入力ソースを選択していることを確認してください。外部グラフィックスポートが有効になっていることを確認します。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。
画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない。	<ul style="list-style-type: none">解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての装置とプロジェクターを再起動します。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。
画面にプレゼンテーションが表示されない。	<ul style="list-style-type: none">ノートパソコンをお使いの場合は、を押して、出力設定を切り替えます。例: [Fn]+[F4]。
画像が不安定、または、ちらつく。	<ul style="list-style-type: none">OSD メイン > イメージ > 位相 メニュー (PC モードのみ) で位相を調整します。
画像に縦線が入る。	<ul style="list-style-type: none">OSD メイン > イメージ > 周波数 メニュー (PC モードのみ) で周波数を調整します。
画像の焦点が合わない。	<ol style="list-style-type: none">プロジェクターレンズのフォーカスリングを調整します。投影画面がプロジェクターから許容距離内にあることを確認します (2.82 フィート [86 cm] ~ 5.64 フィート [172 cm])。
16:9 DVDを表示すると画像が伸びる。	<ul style="list-style-type: none">プロジェクターは自動的に入力信号形式を検出します。投影画像の縦横比を入力信号形式に従って元の初期設定で維持します。画像がそれでも伸びる場合は、OSD の メイン > イメージ > フォーマット メニューでフォーマットを調整してください。
オレンジ色のLED警告インジケータ (LED) が点灯しています。	<ul style="list-style-type: none">プロジェクターのLEDが故障したため、プロジェクターは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合はOptomaまでお問い合わせください。

問題

解決方法

オレンジ色のTEMP警告インジケータ(LED)が点滅しています。

- プロジェクターが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクターが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合はOptomaまでお問い合わせください。
- プロジェクターのファンが故障すると、プロジェクターは自動的に停止します。**電源**ボタンを 10 秒間長押しすることで、プロジェクターモードを消去してください。5分間待ってから、再び電源をオンにしてください。問題が解消しない場合はOptomaまでお問い合わせください。

リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない。

- 電池の残量が少なくなっています。遠隔地からのLED表示が弱過ぎないか点検します。その場合、新しいCR2025電池と交換します。

ガイド信号

プロジェクターステータス	説明	パワー (青/オレンジ色)	温度警告 (オレンジ色)	LED 警告 (オレンジ色)
スタンバイモード	スタンバイモードのプロジェクター。電源を入れる準備ができました。	オレンジ色	オフ	オフ
電源オン	通常モードのプロジェクター。画像表示の準備ができました。	青	オフ	オフ
プロジェクターの温度が高すぎます	通気口が塞がれているか、周囲温度が35°Cを超えていることが考えられます。プロジェクターは自動的にシャットダウンします。通気口が詰まっておらず、周囲温度が動作範囲内にあることを確認します。問題が解消しない場合は当社までお問い合わせください。	オレンジ色の点滅と青色の点灯	オレンジ色点滅 (オフは1秒、オンは3秒という周期です)	オフ
ファンが故障しています	ファンの1つが故障しました。プロジェクターは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合は当社までお問い合わせください。	オレンジ色の点滅と青色の点灯	オレンジ色点滅 (オフは0.5秒、オンは2秒という周期です)	オフ
LED故障	LEDがシャットダウンしています。	オフ	オフ	オレンジ色

- メモ:** ファントラブルがある場合、温度 LED がオレンジ色に点滅します (2 秒間オン/0.5 秒間オフ)。
 - プロジェクターのファンが故障すると、プロジェクターは自動的に停止します。Reset the projector
 電源ボタンを 10 秒間長押しすることで、プロジェクターモードを消去してください。Please wait for about 5 分間待ってから、再び電源をオンにしてください。

互換モード (HDMI/VGA)

信号	モード	解像度	リフレッシュレート (Hz)
HDMI、VGA (ユニバーサルポート経由)	VGA	640 x 480	60/75
	SVGA	800 x 600	60/75/120(*)
	XGA	1024 x 768	60/75/120(*)
	SXGA	1280 x 1024	60/75
	WXGA	1280 x 768	60/75
	WXGA	1280 x 800	60
	WXGA	1366 x 768	60
	WXGA+	1440 x 900	60/75
	SXGA+	1400 x 1050	60
	WSXGA+	1680 x 1050	60
HDMI、YPbPr (ユニバーサルポート経由)	480i	720 x 480	30
	480p	720 x 480	60
	576i	720 x 576	25
	576p	720 x 576	50
	720p	1280 x 720	50/60
	1080i	1920 x 1080	25/30
	1080p	1920 x 1080	24/50/60

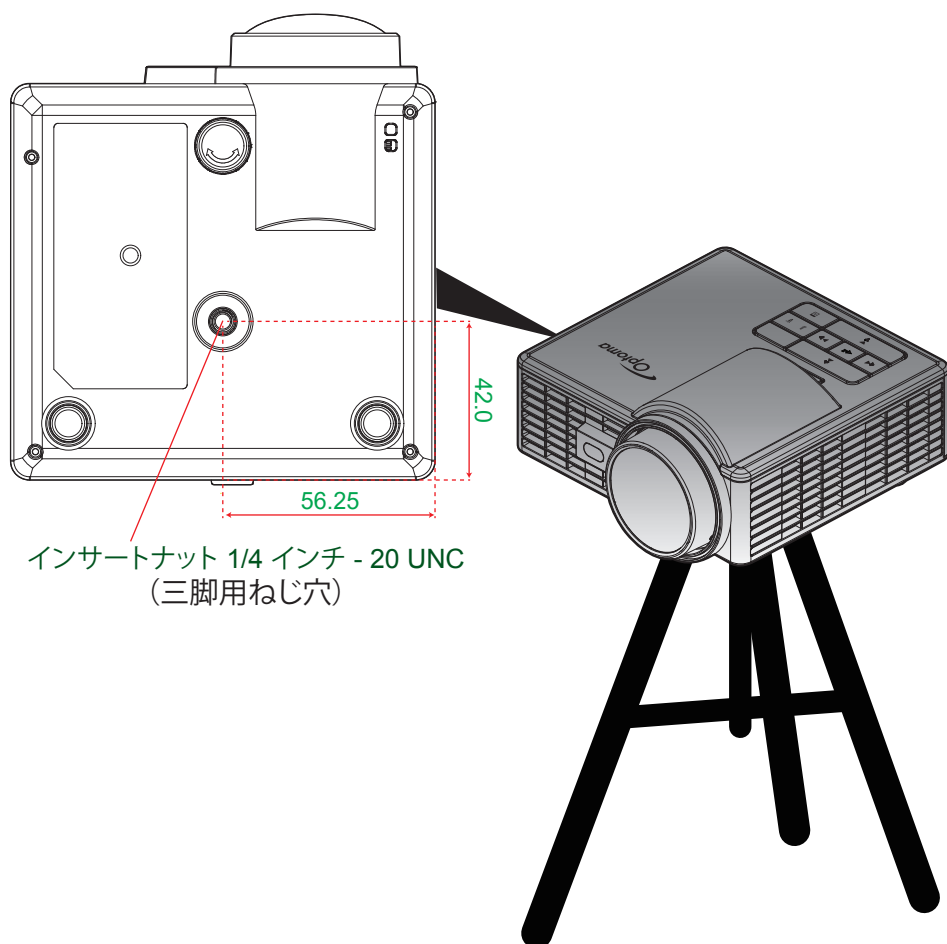
※モ: (*) TI DLP 3D 用 3D タイミング。

プロジェクターの三脚架

プロジェクターのねじ穴に標準三脚をねじで取り付けます。

メモ: 設置を誤って損傷した場合は保証の対象外になることにお気をつけください。

装置一式: mm



仕様

光学	説明
最大解像度	WXGA (1280x800)
ライトニングソース	RGB LED (LED 寿命 = 20,000 時間)
レンズ	マニュアルフォーカス
イメージサイズ (対角)	50 インチ ~ 100 インチ、60 インチが最適です
投射距離	0.86 m ~ 1.72 m、1.033 m が最適です

電気	説明
入力	- ユニバーサル VGA 入力 x1 (特殊ケーブルでの使用)、 - HDMI/MHL 入力 x1、 - USB-A x 1、マイクロ SD x 1
出力	ヘッドフォン出力 x1
色再現	1670 万色
スキャン速度	- 水平スキャン速度: 15.375 ~ 91.146 KHz - 垂直スキャン速度: 24 ~ 120 Hz (3D 機能の場合、120 Hz)
内蔵スピーカー	対応、1.5 W (アンプ)
電力要件	AC アダプタ、入力 100 - 240 V \pm 10 %、AC 50/60 Hz、出力 19V DC (プロジェクターへ)、スタンバイモード \leq 0.5W
入力電流	AC 入力 1.7A (DC 入力 3.42 A)

マルチメディア	説明
FW ベース	Linux 類似 OS
USB-A ポート	- ファームウェアのアップグレード用 (USB 1.1 対応) - USB ストレージディスク用にホストモードをサポートします (USB 2.0 は、最大 64 GB をサポートします)。 - Wi-Fi ドングルをサポート - 3C デバイス用に 5V/0.5A 電源をサポート
マイクロ SD スロット	- マイクロ SD および SDHC カード (最大 64 GByte) をサポート - SDXC および UHS-I カードタイプはサポートされません

機械	説明
取り付け方向	机上/正面、机上/裏面
寸法	112.5 x 105 x 40.5 mm (レンズリングおよびゴム製足なし)
質量	0.46 kg
環境条件	動作: ブライトモードおよびエコモードで 5 ~ 40 °C、湿度 10 % ~ 85 % (結露なし)

※モ: 仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。

